

サバティカル期間における研究経過・成果報告書

令和3年10月13日

国立大学法人茨城大学長 殿

所属・職名 人文社会科学部・教授

氏名 田中耕市

下記のとおり、サバティカル期間が満了しましたので、研究経過・成果等を提出いたします。

サバティカル制度を
利用した期間

令和3年 4月 1日 ~ 令和3年 9月 30日

①研究経過について

(利用期間を月単位
などに区分して、具体
的な研究経過を記入
して下さい。)

4~6月：資料・データの収集、分析、論文執筆・校正（下記②1の論文および②2b）
 7~9月：下記②2aの執筆、②3の準備、②4の分析および論文執筆、以下の学会（全てオンライン）への参加

- ・IGC（国際地理学会議）2021 Istanbul（8月）
- ・日本地図学会および茨城地理学会（共催）（8月）
- ・日本地理学会秋季学術大会（9月）

渡航予定先における新型コロナの状況の改善が思わしくなく、予定の期間（2022年3月まで）内に安全に長期渡航できる可能性は低いと判断し、2021年9月までを以てサバティカルを切り上げることにした。

②研究成果について

(目標の達成状況及
び研究成果の公表予
定について記入して
下さい。)

新型コロナによって渡航や現地調査が実質的に困難な状況であったため、国内において可能な研究活動を進めた。渡航断念と期間短縮のために、当初予定よりは少ないが、2021年10月13日時点において、下記の成果をあげることができた。

- 1) 刊行済み
田中ほか、2021. 地理的条件を考慮した災害からの事前避難促進要因の分析—2019年台風第19号水害における茨城県水戸市を事例として—. E-journal GEO, 16, 219-231. 査読有.
- 2) 未刊行（初校段階または原稿提出済）
 - a. 田中耕市, ブックガイド 高橋克也編著『食料品アクセス問題と食料消費, 健康・栄養』. 農業と経済, 第87巻6号, 2021年11月刊行予定.
 - b. 田中耕市, ナビゲーション. 日本地理学会編『地理学事典』丸善出版. 2022年12月刊行予定.
- 3) 住民に対する研修の主催
令和3年度坏渡里洪水対策研修講座. 2021年10月9日, 於茨城大学図書館.
- 4) 今後の公表予定
他に、現時点で2本の論文（交通アクセシビリティ, 災害時の避難行動）を執筆中であり、いずれも今年度中に投稿できる見込みである。